

ふるさととは遠きにありて 思うもの？

小牧市 清水誠一（清里村出身）

室生犀星の「ふるさととは遠きにありて
思うもの」の詩が好きですが年を重ねて、
この詩の意味をしみじみと実感している
今日この頃です。

私のふるさと清里村は、高田駅から昔
で言う二里半行ったところにあります。
昭和三十五年にふるさとを後にして東京
へ就職し、名古屋、九州、東京、名古屋
と異動して現在の地、小牧市に終の住居
を構えました。この五月に退職して第二
の人生を歩み始めました。

清里村という名前も好きですが、元は
という菅原村と櫛池村が合併されて生
まれた村です。古い歴史の菅原神社と長
野県境に近い京ヶ岳のそばにある坊ヶ池
がふるさとの象徴です。山頂からは妙高
連山、日本海、眼前に広がる高田平野と
昔からの風景は変わっておりません。今
年の四月十日に何十年ぶりかで高田公園
の花見に行ってきました。実家の家族と

ともに日本三日夜校といわれる桜を堪能
してきました。城址には立派な三重櫓が
あり、ライトアップされた桜とのコント
ラストが素晴らしいものでした。夕食は
大変な「こつつおう」で日本海の魚、近
くで採れた山菜、御飯、漬物、味噌汁と
新潟の地酒、そして何時も変わらず温か
いもてなしに、身も心も満腹になりました。

同級生やまた健在の恩師の先生方に会
う機会はありませんでしたが、来年には
郷里でクラス会が開かれます。両親も亡
き今、ふるさととは遠くなりがちですが、年
がすすむにつれ心のよりどころはふるさと
と清里村です。そんなふるさと清里村も、
来年一月より上越市に合併されます。昔
からの地名が消えるのは淋しい気がしま
すが、財政事情を考えると止むを得ない
かもしれません。

合併といえば、昔の高田市と直江津市

とで今の上越市になったと聞いておりま
す。思い切つて、歴史と伝統の城下町本
家、「高田市」に戻つてはと夢見ておりま
す。

ふるさとを離れて生活している皆さん、
極力機会をつくつてふるさとで「じよん
のび」してきませんか。

